

製品名: Fbx32 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86723**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:42 kDa; Observed MW:42 kDa

抗原情報

遺伝子名	Fbx32
別名	Fbx32; MAFbx
遺伝子ID	114907
SwissProt ID	Q969P5
免疫原	ヒト Fbx32 の合成ペプチド

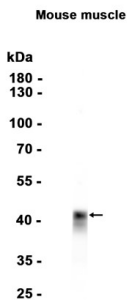
背景

この遺伝子は、約40アミノ酸のモチーフであるFボックスを特徴とするFボックスタンパク質ファミリーのメンバーをコードしている。

ます。Fボックスタンパク質は、リン酸化依存性ユビキチン化に機能する SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の4つのサブユニットの1つを構成しています。Fボックスタンパク質は、WD-40 ドメインを含む Fbws、ロイシンリッチリピートを含む Fbls、および異なるタンパク質間相互作用モジュールを含むか認識可能なモチーフを持たない Fbxs の3つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Fbxs クラスに属し、Fボックスドメインを含みます。このタンパク質は筋萎縮時に高発現しますが、この遺伝子を欠損したマウスは萎縮に抵抗性であることがわかりました。そのため、このタンパク質は筋萎縮の治療における潜在的な薬物ターゲットです。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2011年6月]

研究分野

画像データ



Fbx32 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス筋肉組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。